

「今」と「未来」のために、今私たちができること [目標1] 貧困をなくそう

エス・ディー・ジーズ



「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。一人一人が「**自分のこと**」として考え、身近なことから行動していくことが大切です。



— 貧困の種類 —

絶対的貧困

最低限の衣食住が満たされていない状態
世界→10人に1人

相対的貧困

その国の文化や生活水準と比べて困窮した状態
日本→6人に1人

世界中には、衣食住すらままならない「絶対的貧困」の状態にある方が7億人以上おり、その約半数が子どもといわれています。

日本では、貧困状態が外部から分かりにくく、必要な支援が届きにくい「相対的貧困」の状態にある方が6人に1人いるといわれており、私たちも無関係ではありません。

また、親の貧困により、子どもの教育などに格差が生じ、成人後も貧困から抜け出せない「**貧困の連鎖**」も社会問題となっています。

日常生活でできる取り組み

- 支援団体へ募金や寄付をする
- フードバンクへ食品を届ける
- 貧困について調べる・考える

／ 考えてみよう！／

- 貧困の原因は何だろう？
- 私たちの生活への影響は？

市の取り組み

- 自立相談支援室（窓口：大仙市社会福祉協議会）
→仕事や生活など、日常の困りごとの相談支援
- 就学援助制度
→経済的に困りの世帯へ就学に必要な費用を援助
- 大仙こすもすプロジェクト
→経済的に困りの方へ生理用品を無料配布など